

# With ウィズ

～私たちが私たちに楽しく暮らせる地域づくりを  
みんなですすめようという意味を込めています～

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課 生活支援コーディネーター

小薮（全市）・高井（中央）・金森（鳴尾）・牧（瓦木）・吉岡（甲陽園）中川（甲東・山口）・辻井（塩瀬）

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

TEL(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 kyoseimachi@n-shakyo.jp

## イベント案内

## 気軽な学びの場“みやっこ学びラボ” 始まります！！

“みやっこ学びラボ”について・・・

皆さんの興味・関心のあるテーマについて、楽しく真面目に、そして自由に学びあう機会です。毎回、様々な分野で活躍されている方々をゲストにお招きし、活動の内容や意義、そして夢を語っていただきます。

10月23日（土）「意外と知らない！？子ども食堂ってこんなところ」

11月20日（土）「本で集まる！好きでつながるつどい場のカタチ」 全て14時から16時

12月18日（土）「不登校・引きこもりに悩む人たちの居場所づくり」



※オンライン形式（Zoom 活用）での開催となります。Zoom の使用が難しい方は会場（ふれぼの）での視聴が可能です。WEB（右のQRコード）、電話、FAX（HP のチラシ参照）のいずれかでお申し込みください。

## 生活支援コーディネーター訪問記 “ええもん めっけ”

## 趣味でつながるつどい場 むぎばたけ



こんにちは！生活支援コーディネーター1年目の吉岡です。

今回紹介する「むぎばたけ」は英語の絵本に親しむつどい場です。みなさん共通の趣味である英語を楽しまれていて、いきいきとした表情が印象的でした★

「むぎばたけ」の代表である梅畑<sup>うめはた</sup>さんは、数年前までアメリカで日本語の幼稚園を運営されていたそうです。そのため、帰国後も当時集めた英語の絵本をたくさんお持ちでした。

『この絵本をどうしたらみんなのために活かすことができるんだろう。。。』そんな思いから、生まれたのが「むぎばたけ」の活動です★

会の中では日本語と英語を交えてお互いの国の文化について話をしたり、英語絵本の読み聞かせをしたり、ゲームをしたりとなごやかな空気が流れています。

\*活動日：毎月第1・3（木）10:30-11:30 コープ夙川店3階\*



幅広い年代の方が参加しています♪



絵本は全部で100冊以上！

“お勉強ではなく、英語をきっかけに新しいことに興味を持ってもらう”  
それが『むぎばたけのモットー』だと、代表の梅畑さんは話します。

# 共 生 の ま ち づ くり 実 践 2 0 2 1

市内に広がる共生型地域交流拠点。コロナ禍でも工夫をしながら活動をされています。  
活動の中で生まれているエピソードを共生のまちづくり実践としてお届けしていきます！

## はま café マリナ ふらっと

### ～心のつながりを実感、町で見つけた手作りリボン～

コロナの影響により、一時拠点を閉めることになったふらっと。カフェスタッフは、いつも来られていた地域の方の様子が気になっていました。そんな中、コロナをみんなで乗り越えようとスタッフで話し合っ、地域住民に向けた「ふらっとだより」を作成しました。お便りと一緒に手作りのシトラスリボンを入れて、これまでにカフェに来られたことのある方のご自宅にお届けしました。

ある日、カフェスタッフが町を歩いていると、シトラスリボンを身に着けている方を発見。その場では声をかけませんでしたが、自分たちの思いが伝わり、お互いに気持ちがつながっていることを実感しました。

コロナ禍で集まる機会は減りましたが、日々の暮らしの中で心のつながりを感じられる出来事が、地域住民の心の支えになっています。

※シトラスリボンとは・・・コロナ禍で差別・偏見をなくす取り組みとして、生まれました。

「地域」「家庭」「職場（学校）」を3つの輪で表現しています。



## ふれぼのカフェ

### “おさそい隊”が“お届け隊”に！？コーヒーだけじゃなく、笑顔も届けます！

ふれぼのカフェでは、様々な理由で少し外に出るのが難しくなった方のお宅へ訪問し、カフェと一緒に来て頂く「おさそい隊」の活動を行っています。ふれぼのメンバーの「〇〇さんに会いたい！」という思いと「カフェに行ってみんなとお話したい！」という思いが重なってこの活動は生まれました。

#### だけど、コロナ禍でカフェに集まるのが難しい状況に・・・

「カフェに集まれないなら、コーヒーを届けに行こう！」とKさん宅へ伺いました。「万歩計の数字が1日10歩、20歩にしかならない」と思うように歩けないことを嘆いていたKさん。それでも「みんなが来てくれたから」と玄関前の道まで歩いて来られ、一緒に写真を撮りました。そんな姿をKさんの奥さんは笑顔で見守っておられました。後日、奥さんから「最近、立ち姿の写真が全然撮れていないので分けてほしい」とお願いがありました。そんな話を聞いて、おさそい隊メンバーも、自分たちの活動が誰かを笑顔にできることを再確認しました。

